

直送データ作成（編集）ガイドライン

<本資料の目的>

e-お菓子ねっとで「直送データ」を利用するために必要となる「直送データの作成システム」の概要について「発注データ」を入力とした「直送データ」の作成（編集）仕様を例示することで、開発規模や難易度についてご理解いただくための資料です。

本資料に記載した編集仕様は、卸からの「発注データ」を基に商品を小売業へ直接納品する業務を想定した事例です。システム実装時には、各社様の実業務に合わせ、卸とメーカー間で編集仕様の詳細を取り決める必要があります。

「直送データ」のレコード構成、フォーマット、項目単位の属性情報（必須／任意・初期値）は、e-お菓子ねっとのホームページに掲載している「e-お菓子ねっと）標準フォーマット」でご確認下さい。

1. コントロールレコード

項番	発注データ		移送先	直送データ			設定方法
	項目名	桁数		項目名	桁数	内容	
1	データ種別	9(02)	・	データ種別	9(02)	"22"(直送データ)固定	
2	送信先コード	9(08)	→	送信先コード	9(08)	送信先(卸)の統一取引先コード	
3	送信元コード	9(08)	→	送信元コード	9(08)	送信元(メーカー)の統一取引先コード	発注データの「直接送信先コード」の設定による。 「直接送信コード」= '00000000' ⇒ 発注データの「送信先コード」 「直接送信コード」≠ '00000000' ⇒ 発注データの「直接送信先コード」
4	レコード区分	9(01)	・	レコード区分	9(01)	"1"固定	
5	データ作成日	9(08)	・	データ作成日	9(08)	本データを作成した日付(西暦YYYYMMDD)	
6	送信先名	X(20)	→	送信先名	X(20)	送信先卸名	
7	送信元名	X(20)	→	送信元名	X(20)	送信元メーカー名	発注データの「直接送信先コード」の設定による。 「直接送信コード」= '00000000' ⇒ 発注データの「送信先名」 「直接送信コード」≠ '00000000' ⇒ 発注データの「直接送信先カナ名」
8	直接送信先コード	9(08)	→	直接送信先コード	9(08)	「送信先コード」と異なる場所に送信する場合に送信する場合にセット	
9	直接送信先カナ名	X(20)	→	直接送信先名	X(20)	直接送信先名、セット不要の場合はスペース	
10	予備	X(161)	・	予備	X(161)	スペース	

発注データのみ項目

直送データのみ項目

2. ヘッダレコード

項番	発注データ		移送先	直送データ			設定方法
	項目名	桁数		項目名	桁数	内容	
1	データ種別	9(02)	・	データ種別	9(02)	"22"(直送データ)固定	
2	送信先コード	9(08)	↗	送信先コード	9(08)	送信先(卸)の統一取引先コード	
3	送信元コード	9(08)	↘	送信元コード	9(08)	送信元(メーカ)の統一取引先コード	発注データの「直接送信先コード」の設定による。 「直接送信コード」= '00000000' ⇒ 発注データの「送信先コード」 「直接送信コード」≠ '00000000' ⇒ 発注データの「直接送信先コード」
4	レコード区分	9(01)	・	レコード区分	9(01)	"2"固定	
5	卸伝票NO	9(06)	・				
6			・	伝票NO	9(06)	メーカ発行伝票NO	
7	店入直送区分	9(01)	→	店入直送区分	9(01)	1:店入 2:直送	
8	取引コード	9(02)	→	取引コード	9(02)	コード表参照	標準フォーマットの「1. 1. 4 取引コード」参照
9	納品日	9(08)	→	取引年月日	9(08)	納品年月日(西暦YYYYMMDD)	
10	納入時間	9(04)	・				
11			・	予備	X(04)	スペース	
12	明細行数	9(02)	→	明細行数	9(02)	伝票内明細数	
13	一次店コード	9(08)	→	一次店コード	9(08)	該当する統一取引先コード	
14	二次店コード	9(08)	→	二次店コード	9(08)	該当する統一取引先コード	
15	届け先コード	9(08)	→	届け先コード	9(08)	該当する統一取引先コード(一次店・二次店と重複の場合も必須)	
16	専用伝票日付	9(08)	→	専用伝票日付	9(08)	西暦。納品伝票が専用伝票の場合にセット	
17	専用伝票NO	9(09)	→	専用伝票NO	9(09)	納品伝票が専用伝票の場合にセット	
18	伝票合計金額符号	X(01)	→	伝票合計金額符号	X(01)	伝票合計金額の符号	
19	伝票合計金額	9(08)	→	伝票合計金額	9(08)	伝票の合計金額(卸店入価格)	
20	二次店納入合計符号	X(01)	→	二次店納入金額符号	X(01)	正味納入金額の符号	
21	二次店納入合計金額	9(08)	→	二次店納入合計金額	9(08)	正味納入金額(二次店が量販店等)	
22	一次店カナ名	X(30)	→	一次店カナ名	X(30)	一次店名	
23	二次店カナ名	X(30)	→	二次店カナ名	X(30)	二次店名	
24	届け先カナ名	X(30)	→	届け先カナ名	X(30)	届け先名	
25			・	元伝日付	9(08)	西暦。メーカで訂正した場合に元伝票の納品日・伝票NOをセット	
26			・	元伝NO	9(06)	前ゼロ。メーカで訂正した場合に元伝票の納品日・伝票NOをセット	
27			・	摘要欄	X(30)	伝票の摘要欄の内容	
28	メーカ所属組織名	X(10)	→	メーカ所属組織名	X(10)	メーカの伝発組織名	
29			・	伝票区分	9(01)	コード表参照	標準フォーマットの「1. 1. 6 伝票区分」参照
30			・	卸伝票NO	9(06)	卸の伝票No。(発注データで受けた場合は必ず設定)	
31	定番/特売区分	X(01)	→	定番/特売区分	X(01)	0:定番 1:特売	
32	摘要欄	X(30)	・				
33			・	登録店区分	X(01)	0:登録店以外 1:登録店	
34	メーカコード	X(09)	・				
35	予備	X(14)	・	予備	X(02)	スペース	

発注データのみ項目

直送データのみ項目

3. 明細レコード

項番	発注データ		移送先	直送データ			設定方法	
	項目名	桁数		項目名	桁数	内容		
1	データ種別	9 (02)	・	データ種別	9 (02)	"22" (直送データ) 固定		
2	送信先コード	9 (08)	・	送信先コード	9 (08)	送信先 (卸) の統一取引先コード		
3	送信元コード	9 (08)	・	送信元コード	9 (08)	送信元 (メーカ) の統一取引先コード	発注データの「直接送信先コード」の設定による。 「直接送信コード」= '00000000' ⇒ 発注データの「送信先コード」 「直接送信コード」≠ '00000000' ⇒ 発注データの「直接送信先コード」	
4	レコード区分	9 (01)	・	レコード区分	9 (01)	"4" 固定		
5	行NO	9 (02)	→	行NO	9 (02)	明細行NO		
6	専用伝票行NO	9 (02)	→	専用伝票行NO	9 (02)	専用伝票の行NO		
7	商品コード識別区分	X (01)	→	商品コード識別区分	X (01)	0: 統一商品コード 1: I T Fコード (標準 1 4 桁) 2: I T Fコード (拡張 1 6 桁) 3: J A Nコード (標準) 4: J A Nコード (短縮) 5: 未使用 6: G T I Nコード (1 4 桁)		
8	品番	X (16)	→	品番	X (16)	品番		
9	商品名	X (25)	→	商品名	X (25)	商品名		
10	包装区分	9 (01)	→	包装区分	9 (01)	1: ケース発注 2: ボール発注 3: バラ発注		
11	内容	ボール内バラ数	9 (04) V99	→	内容	ボール内バラ数	9 (04) V99	ボール内バラ数
12		ケース内ボール数	9 (02)	→	ケース内ボール数	9 (02)	ケース内ボール数	
13	数量符号	X (01)	→	数量符号	X (01)	数量の符号		
14	数量	ケース数量	9 (07)	→	数量	ケース数量	9 (07)	ケース数量
15		ボール数量	9 (07)	→	ボール数量	9 (07)	ゼロ	
16		バラ数量	9 (07) V99	→	バラ数量	9 (07) V99	バラ数量	
17	単価	卸店入価格	9 (06) V99	→	単価	卸店入価格 (バラ単価) 商品添付区分が' 売上' 以外の場合はゼロ	9 (06) V99	
18		二次店納入価格	9 (06) V99	→	二次店納入価格	9 (06) V99	二次店納入価格 (バラ単価) 商品添付区分が' 売上' 以外の場合はゼロ	
19	金額符号	X (01)	→	金額符号	X (01)	金額の符号		
20	金額	卸店入金額	9 (08)	→	金額	卸店入金額 商品添付区分が' 売上' 以外の場合はゼロ	9 (08)	
21		二次店納入金額	9 (08)	→	二次店納入金額	9 (08)	二次店納入金額 商品添付区分が' 売上' 以外の場合はゼロ	
22	卸最新在庫日付	X (05)	・					
23			・	商品添付区分	X (01)	△: 売上 1: 現物添付 2: 見本 3: 景品		
24			・	予備 1	X (04)	スペース		

発注データだけの項目

直送データだけの項目

3. 明細レコード(つづき)

項番	発注データ		移送先	直送データ			設定方法	
	項目名	桁数		項目名	桁数	内容		
25	行NO	9(02)	→	行NO	9(02)	明細行NO		
26	専用伝票行NO	9(02)	→	専用伝票行NO	9(02)	専用伝票の行NO		
27	商品コード識別区分	X(01)	→	商品コード識別区分	X(01)	0:統一商品コード 1:ITFコード(標準14桁) 2:ITFコード(拡張16桁) 3:JANコード(標準) 4:JANコード(短縮) 5:未使用 6:GTINコード(14桁)		
28	品番	X(16)	→	品番	X(16)	品番		
29	商品名	X(25)	→	商品名	X(25)	商品名		
30	包装区分	9(01)	→	包装区分	9(01)	1:ケース発注 2:ボール発注 3:バラ発注		
31	内容	ボール内バラ数	9(04)V99	→	内容	ボール内バラ数	9(04)V99	ボール内バラ数
32		ケース内ボール数	9(02)	→		ケース内ボール数	9(02)	ケース内ボール数
33	数量符号	X(01)	→	数量符号	X(01)	数量の符号		
34	数量	ケース数量	9(07)	→	数量	ケース数量	9(07)	ケース数量
35		ボール数量	9(07)	→		ボール数量	9(07)	ゼロ
36		バラ数量	9(07)V99	→		バラ数量	9(07)V99	バラ数量
37	単価	卸店入価格	9(06)V99	→	単価	卸店入価格	9(06)V99	卸店入価格(バラ単価) 商品添付区分が'売上'以外の場合はゼロ
38		二次店納入価格	9(06)V99	→		二次店納入価格	9(06)V99	二次店納入価格(バラ単価) 商品添付区分が'売上'以外の場合はゼロ
39	金額符号	X(01)	→	金額符号	X(01)	金額の符号		
40	金額	卸店入金額	9(08)	→	金額	卸店入金額	9(08)	卸店入金額 商品添付区分が'売上'以外の場合はゼロ
41		二次店納入金額	9(08)	→		二次店納入金額	9(08)	二次店納入金額 商品添付区分が'売上'以外の場合はゼロ
42	卸最新在庫日付	X(05)	・					
43			・	商品添付区分	X(01)	△:売上 1:現物添付 2:見本 3:景品		
44			・	予備 1	X(04)	スペース		
45	予備 2	X(03)	・	予備 2	X(03)	スペース		

発注データのみの項目
直送データのみの項目

4. トレーラレコード

項番	発注データ		移送先	直送データ			設定方法
	項目名	桁数		項目名	桁数	内容	
1	データ種別	9(02)	・	データ種別	9(02)	"22"固定	
2	送信先コード	9(08)	・	送信先コード	9(08)	送信先(卸)の統一取引先コード	
3	送信元コード	9(08)	・	送信元コード	9(08)	送信元(メーカー)も統一取引先コード	発注データの「直接送信先コード」の設定による。 「直接送信コード」= '00000000' ⇒ 発注データの「送信先コード」 「直接送信コード」≠ '00000000' ⇒ 発注データの「直接送信先コード」
4	レコード区分	9(01)	・	レコード区分	9(01)	"9"固定	
5	レコード件数	9(06)	・	レコード件数	9(06)	コントロールレコードとトレーラレコードで括られたレコードの総件数 (コントロールレコードとトレーラレコードは含まない)	
6	伝票枚数	9(06)	・	伝票枚数	9(06)	伝票枚数	
7	合計金額符号	X(01)	・	合計金額符号	X(01)	合計金額の符号	
8	合計金額	9(10)	・	合計金額	9(10)	卸店入価格で全明細行の金額合計	
9	予備	X(214)	・	予備	X(214)	スペース	

発注データのみ項目

直送データのみ項目

参考:[標準フォーマット 1.1.4 取引先コード]

コード	内容
11	店入売上
21	店入返品
31	直送売上
12	店入売上訂正
22	店入返品訂正
32	直送売上訂正
41	直送返品
42	直送返品訂正
51	割戻し金
52	相殺